

週刊 **タバコの正体**

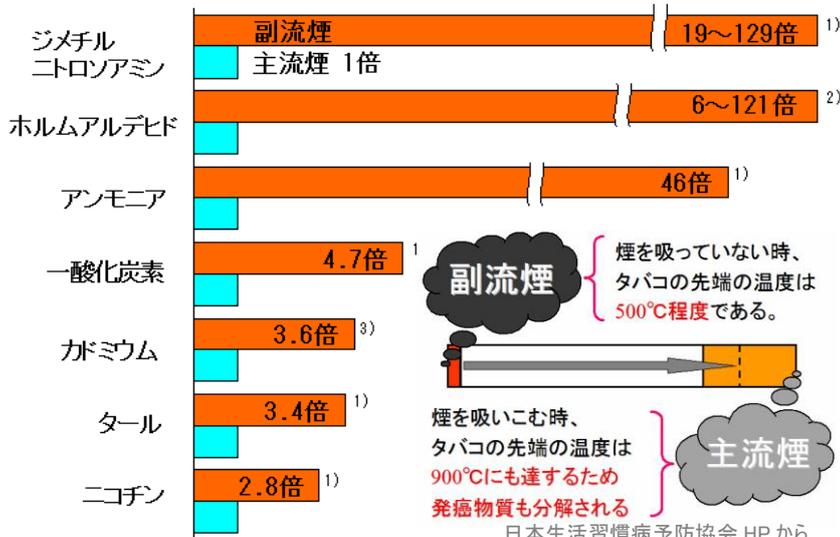


club sunstar HP から

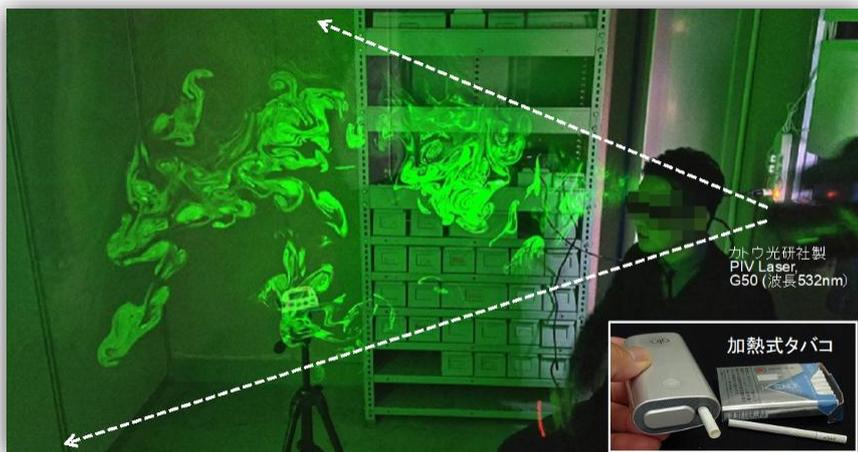
目に見えないせいで、その危険性を感じにくいのですが至近距離にいる人は確実に受動喫煙をします。

そして、紙巻タバコでは火のついた先端からでる“副流煙”も発生します。じつは、この副流煙はグラ

**紙巻タバコの煙**



**加熱式タバコの煙**



保健指導リソースガイド HP から

タバコを吸うと必ず煙が発生します。左図にあるように、紙巻タバコでは、見るからに白い煙があたり一面に広がります。一方加熱式タバコからは、一見白い煙は見えません。どちらのタバコも本人が吸込んだ煙(主流煙)の後にはタバコの成分が含まれる“呼出煙”<sup>こしゅつえん</sup>と呼ばれ息が吐き出されます。

呼出煙は喫煙者が呼吸をするたびに吐き出されるので、周りには必ずタバコの有害成分が漂っているわけです。呼出煙は

フにあるように主流煙より低温で燃焼しているので、その何十倍も有害なのです。狭い空間で喫煙すると、この煙が充満してうっすら白くなり、かなり危険な状態となります。

それに比べ加熱式は火を使う煙ではなくタバコ成分を含んだ水蒸気(エアロゾル)を含む呼出煙しか出ません。目には見えませんが、左の写真を見てください。部屋の照明を落としてレーザー光線を照射すると約2m先までエアロゾルが呼出される様子がわかります。

このようにタバコを吸うと必ず周りに有害成分が広がる事を、しっかり心得ておいてください。

産業デザイン科 奥田 恭久